

学位論文及び審査結果の要旨

横浜国立大学

氏名	福山貴昭
学位の種類	博士（学術）
学位記番号	環情博甲第512号
学位授与年月日	令和4年3月24日
学位授与の根拠	学位規則（昭和28年4月1日文部省令第9号）第4条第1項及び 横浜国立大学学位規則第5条第1項
学府・専攻名	環境情報学府 環境イノベーションマネジメント専攻
学位論文題目	第一種動物取扱業の地震リスクとリスクマネジメント
論文審査委員	主査 横浜国立大学 教授 安藤孝敏 横浜国立大学 教授 周佐喜和 横浜国立大学 准教授 長谷部英一 横浜国立大学 教授 及川敬貴 横浜国立大学 名誉教授 志田基与師

論文及び審査結果の要旨

第一種動物取扱業は管理する展示動物を介して災害時に地域社会に被害をもたらす可能性を有する業であるが、それを防止するための防災を義務付ける法律等の整備はなく、各事業者の防災意識や防災実施能力に任されているのが現状である。本学位論文は、第一種動物取扱業が地震という自然災害時に展示動物を適切に管理するうえでの外部及び内部状況のリスク・問題点を明らかにし、それらに対応するための具体的な施策を検討することが目的であった。

外部状況は主に法令、基本指針、推進計画、防災計画などの文献資料調査により検討され、内部の状況は東京都、大規模地震災害を経験した宮城県と熊本県の1都2県に登録されている動物取扱業責任者を対象とした質問紙調査により行われた。これらの調査から、次のような問題点が明らかになった。まず、動物取扱業の外部の状況の問題点は、改善のための自主性や自浄作用が働かない組織、災害時展示動物対応を義務付ける法律の欠如、災害時展示動物対応に対する行政介入の全容が不明確であること、災害時に特に高まる展示動物に潜在するリスク、災害時展示動物対応を支援する情報の欠如、社会から動物取扱業に強く求められる防災、動物取扱業の不明な防災状況であった。次に、動物取扱業の内部の状況の問題点は、低い防災実施状況、社会的責任が欠如した防災内容、低いBCP認知度・BCP策定率、責任者の低い代役の取り決め率、責任者の災害時に社会に及ぼすリスク認識の欠如、責任者の低い防災意識、責任者の矛盾した防災意識の自己評価、災害発生を予測しながらも向上しない防災状況、BCP策定の効果に対し懐疑的な責任者の存在、災害時に個人的な立場や動機を優先する責任者の存在、災害時に展示動物を逸出させる意思のある責任者の存在であった。これらの結果から、第一種動物取扱業は大規模地震災害に対する脆弱性は大きいと判断された。

調査により明らかとなった18項目のリスクを生じさせるリスク源は、行政による「法整備の不備」、責任者の「社会的責任の欠如」、責任者の「防災意識と防災知識の低さ」に大別することができ、これらのリスク源を網羅するリスクマネジメントを「法令の整備」「社会的責任の強化」「防災意識と防災知識の向上」の3つに集約し、それを実現するための具体的な施策と期待される効果が提示された。「法令の整備」については、動物の愛護及び管理に関する法律において、動物取扱業に対し防災実施及び事業継続計画策定（BCP策定）を義務付ける法の制定であった。次に、災害時動物対応が記された法令等の条文において使用されている、定義が不明確な動物を示す用語（家庭動物等）を明確にする施策であった。「社会的責任の強化」については、第一種動物取扱業を構成する主要な民間団体組織がイニシアチブを取り、社会との適合性や第一種動物取扱業が社会へ与

える負の影響を把握したうえで、最低限果たすべき社会的責任を明確にし、それを実現するための基準を規定することであった。「防災意識と防災知識の向上」については、動物取扱業の事業所が所在する地域のハザードマップを事業者配布し閲覧させる施策であった。次に、災害に関連して事業者が被告等になっている裁判例から抽出された教訓を情報として事業者提供する施策であった。

現在まで第一種動物取扱業の防災状況がほとんど不明であったため、防災実施に関連する具体的なリスクマネジメントが行政や業界団体から提示されることはなかった。しかし、本研究により、第一種動物取扱業の防災状況が明らかになったことから、防災上のリスク及びリスク源が理解され、それに対応するための具体的な施策を含む第一種動物取扱業のリスクマネジメントを提示することができた。

本学位論文は、第一種動物取扱業の外部及び内部状況を詳細に調査することにより、行政や業界組織内においても把握されていなかった地震災害時のリスクを明らかにした点、実効性のある地震災害時のリスクマネジメントが提示できた点に学術的に大きな貢献が認められる。審査委員による本学位論文の内容に関する質疑に対して適切に回答できたことから、博士（学術）学位に値すると判断され、審査委員全員により合格（A）と判定された。

注 論文及び審査結果の要旨欄に不足が生じる場合には、同欄の様式に準じ裏面又は別紙によること。